

## 令和元年度第1回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日 時 : 令和元年7月19日（金） 13:30～14:40

会 場 : 秋田県立近代美術館 会議室

出席者 : 会 長 木 村 雅 美 横手市教育委員会教育総務部次長兼学校総務課長  
副会長 亀 沢 修 小坂町町史編さん室長  
委 員 池 田 陽 子 株式会社Mag代表取締役  
" 大 山 満 子 公募  
" 澁 谷 和 之 澁谷デザイン事務所代表  
" 松 田 砂 織 えがおの花書道教室代表  
事務局 畑 中 康 博 生涯学習課 生涯学習・学芸振興班 学芸主事  
" 仲 町 啓 子 近代美術館 館長  
" 樫 尾 康 子 " 副館長  
" 保 泉 充 " 学芸班 副主幹（兼）班長  
" 佐々木 賢 一 " 総務班 副主幹（兼）班長  
" 茂 木 亨 " " 副主幹  
" 加 藤 紫 帆 " " 主事  
" 鈴 木 秀 一 " 学芸班 副主幹  
" 藤 井 正 輝 " " 学芸主事  
" 高 橋 輝 樹 " " "  
" 小 林 紀 子 " " "  
" 菅 原 真紀子 " " "  
" 鈴 木 京 " " 主任（兼）学芸主事

### <次 第>

#### 1 開 会

#### 2 館長あいさつ

#### 3 委員・職員紹介

#### 4 会長あいさつ

#### 5 協 議

(1) 平成30年度近代美術館事業の概況について

(2) 令和元年度近代美術館事業の概要について

樫尾副館長が、パワーポイントを使用して(1)(2)について一括して事業等を説明

(3) (1)・(2)について一括の協議・質疑応答

#### 6 閉 会

## <協議概要>

展覧会チラシのデザインが説明的ではあるが魅力的でない。展示とチラシの編集がちぐはぐになっているので、チラシをデザインする時点で展示会場の設計とできる範囲でやりとりして、チラシと展示がリンクするようになればもっと集客はできる。

→ 今回のコレクション展（以下キャラクターズ展）は、5階の特別展と繋がりを持たせた展覧会である。キャラクターズ展の展示をもっとポップにしようと考えていたが、出来上がって見たらスマートな大人しい感じになり、指摘のとおりである。以前、委員が仰った何か目玉を押し出す見せ方を工夫すべきであった。コレクション展はチラシや展示も自由に設計できるので今後の参考としたい。

**「マンガ」という分野に初めて切り込んだ理由は。**

→ 海外では人気が高く、現在もイギリス大英博物館で「マンガ」という展示を行っている。マンガを制作する様子なども含め日本の文化の一つとして取り上げられている。今回展示しているビッグコミックからも四作品原画展示されている。マンガ自体がここ数年、美術品、アートとして捉えられてきているということも、今、話題となっている作品を取り上げることも美術館での役目として本展を企画した。

**道路から美術館入口への動線で工事現場や裏口のような印象を受けるがどうにか出来ないか。**

→ 当館はふるさと村の中にある美術館で屋外は村で整備している。館内であれば私たちが工夫しないといけないところだが、村に続く廊下にバナーを下げるなど、ある程度連絡を取り合いながら整備しなければならない部分があるのが実情である。館内では、受付前にイーゼルを置いてにポスターを掲示している。

**出前美術館が縮小してきている。すごく良い機会なので是非、県北に足を運んでほしい。**

→ 今年度も北秋田市文化会館を予定し、学校側にもバスで来ていただくようお願いしている。他の地域の学校にもお願いしてきているが、学校行事の都合で来られない。また経費的な面で当館も厳しい状態のため、市町村教育委員会に経費負担をお願いしている面もあり、なかなか言いづらい状況である。ただ横手まで来られない子ども達に見てもらいたいので出来るだけ続けていきたいと考えている。

**情報を伝えるのは、なかなか難しいが何か新たに広報やPRしたことはあるか。**

→ 特に今年はないが、特別展については、報道関係と実行委員会を組んでいるので、テレビや新聞でアピールが出来ている。一方で出前美術展などは当館やエナジウムパークでも特に広く広報はしていない。そのような細かいところにも配慮していかなければと考えている。いただいた貴重な意見を当館の運営に反映させていきたい。